

実質化された人・農地プラン(公開用)

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
大網白里市	山辺地区	令和2年5月26日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	37ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	30ha
③地区内における61才以上の農業者の耕作面積の合計	27ha
i うち後継者がいる農業者の耕作面積の合計	6ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	21ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	27ha

2 対象地区の課題

当該地区については、61才以上の営農者が耕作する土地が70%以上を占めており、かつ後継者の乏しい地域である。
また、天水及び湧水による用水、田越しの用排水、さらには未整備で不均一な形状のほ場のため大型機械の導入もままならず、耕作条件が悪く年々耕作放棄地が増加している。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体である集落営農組合を立ち上げ、1集落1農場を目指し、農地の集積集約を進める。オペレータを若手中心として、農地の出し手となる地域内の高齢者も積極的に雇用し作業員を確保する。

(参考)中心経営体

○経営体数
法人 1経営体
個人 2経営体(営農組合参加)

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向
営農組合に貸付を希望する農地と、基盤整備事業における不換地を希望する農地を合わせると約27haある。

農地中間管理機構の活用方針
集落営農組合への集約化を目指し、農地所有者は原則として農地を機構に貸し付けていく。

基盤整備への取組方針
農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、山辺地域において、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備に取り組む。

畑作物の導入方針
水稻栽培以外に、収益性の高いソラマメ・レタス・枝豆などの露地野菜を生産する。
また、トウモロコシを栽培し収穫祭のイベントを実施して、非農家と農家の交流の場を設ける。